# Scala製 プロダクトの Javaバージョン戦略

2018-10-24 Wed. @yoshiyoshifujii

# 自己紹介

- Yoshitaka Fujii @yoshiyoshifujii
- ChatWork株式会社 (2ヶ月)
- Scala関西 Summit スタッフ
- Scala歴 4年
- Contributed to Akka
- chatwork/akka-guard
- 🍣 🍶



Scala製プロダクトのJava戦略 2 / 24

JOIN





# **Agenda**

- 1. JDKの新しいリリース・モデル
- 2. ScalaのJava対応状況
- 3. 選択肢

オラクルは2017年9月、JDKの提供サイクルとライセンス方式に関して、新たなリリース・モデルを発表しました。 これらはJDK 9より一部が適用され、2018年9月に公開予定のJDK 11で完全移行します。 新リリース・モデルはJDKの過去のリリース・モデルの課題を解決したものであり、ユーザーにより多くのメリットをもたらします。

https://www.oracle.com/technetwork/jp/articles/java/ja-topics/jdk-release-model-4487660-ja.html

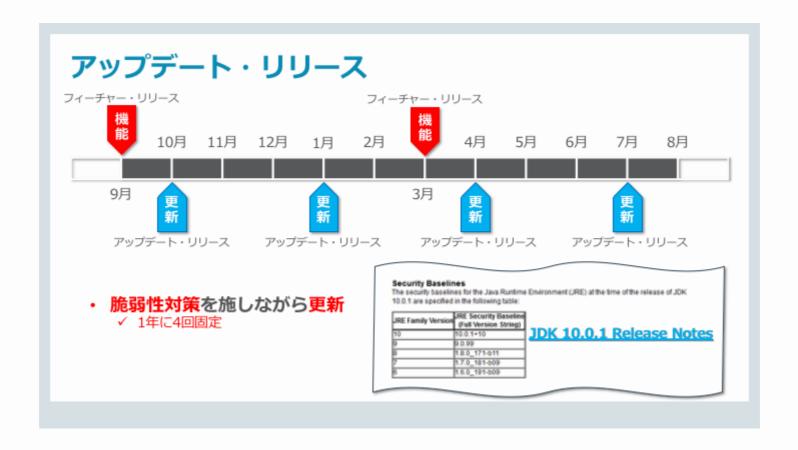
## 年6回の定期リリース・サイクル

- 新機能が追加される6カ月に1回のフィーチャー・リリース
  - 毎年3月、9月
  - 従来の「メジャー・リリース」という呼び名から
    - 新しく「フィーチャー・リリース」に変更
  - 。 JDKの正式なバージョン番号も上がっていく
  - 。 JDKを短期間で定期的に更新していくことを重視したサイクル
  - 従来のように新バージョンで一挙に多数の機能が追加されるようなことはない
- 脆弱性対策などを施したアップデート・リリースを1年に4回
  - 毎年1月、4月、7月、10月

## 無償アップデートの終了時期と有償サポートの提供

- オラクルがビルドした公式OpenJDKバイナリは、新バージョンがリリースされたタイミングで旧バージョンの更新を終了
- 無償版を利用するユーザーは、新バージョンに移行することでJDKを引き続き無償で更新できる
- 特定バージョンでJDKの更新を継続したいユーザーには、JDK 11から3年ごとにLTS 指定されるフィーチャー・リリースに対してOracle JDKバイナリを有償で提供

#### 1年に6回リリースされるオラクルの公式OpenJDKバイナリ



Scala製プロダクトのJava戦略

#### オラクルの公式OpenJDKバイナリは6カ月でアップデートを終了

#### Oracle の Java の商用サポート期間

https://www.oracle.com/us/assets/lifetime-support-middleware-069163.pdf

2018年5月時点

リリース	提供開始 (GA)	Premier サポート終了	Extended サポート終了	Sustaining サポート
Java SE 5.0	2004年 5月	2011年 5月	2015年 5月	あり
Java SE 6	2006年12月	2015年12月	2018年12月	あり
JRockit 6	2009年 6月	2015年12月	2018年12月	あり
Java SE 7	2011年 7月	2019年 7月	2022年 7月	あり
Java SE 7 Deployment Technology		2016年 7月	設定なし	あり
Java SE 8	2014年 3月	2022年 3月	2025年 3月	あり
Java SE 8 Java Web Start		2022年 3月	2025年 3月	あり
Java SE 8 <mark>Java Plug-in</mark>		2019年 3月	設定なし	あり
Java SE 9 (non-LTS)	2017年 9月	2018年 3月	設定なし	あり
Java SE 18.3 (10) (non-LTS)	2018年 3月	2018年 9月	設定なし	あり
Java SE 18.9 (11) (LTS)	2018年 9月	2023年 9月	2026年 9月	あり

注意: Deployment Technology: Java Plug-in と Java Web Start

オラクルは2017年9月、JDKの提供サイクルとライセンス方式に関して、新たなリリース・モデルを発表しました。 これらはJDK 9より一部が適用され、2018年9月に公開予定のJDK 11で完全移行します。 新リリース・モデルはJDKの過去のリリース・モデルの課題を解決したものであり、ユーザーにより多くのメリットをもたらします。

https://www.oracle.com/technetwork/jp/articles/java/ja-topics/jdk-release-model-4487660-ja.html

オラクルは2017年9月、JDKの提供サイクルとライセンス方式に関して、新たなリリース・モデルを発表しました。 これらはJDK 9より一部が適用され、2018年9月に公開予定のJDK 11で完全移行します。 新リリース・モデルはJDKの過去のリリース・モデルの課題を解決したものであり、ユーザーにより多くのメリットをもたらします。

https://www.oracle.com/technetwork/jp/articles/java/ja-topics/jdk-release-model-4487660-ja.html

オラクルは2017年9月、JDKの提供サイクルとライセンス方式に関して、新たなリリース・モデルを発表しました。 これらはJDK 9より一部が適用され、2018年9月に公開予定のJDK 11で完全移行します。 新リリース・モデルはJDKの過去のリリース・モデルの課題を解決したものであり、ユーザーにより多くのメリットをもたらします。

https://www.oracle.com/technetwork/jp/articles/java/ja-topics/jdk-release-model-4487660-ja.html

# もうはじまってる!

#### Version compatibility table

This table shows the first Scala release in each series that works with each JVM release.

JVM version	Minimum Scala versions
9, 10	2.12.4 <sup>1</sup> , 2.11.12 <sup>1</sup> , 2.10.7
8	2.12.0, 2.11.0, 2.10.2
7	2.11.0, 2.10.0
6	2.11.0, 2.10.0

https://docs.scala-lang.org/overviews/jdk-compatibility/overview.html#version-compatibility-table

We recommend using Java 8 for compiling Scala code. Since the JVM is backward compatible, it is usually safe to use a newer JVM to run your code compiled by the Scala compiler for older JVM versions.

- ScalaコードのコンパイルにはJava 8を 使用することをお勧めします。
- JVMは下位互換性があるため、新しい JVMを使用してScalaコンパイラによっ てコンパイルされたコードを古いJVMバ ージョン用に実行するのが通常安全で す。

https://docs.scala-lang.org/overviews/jdk-compatibility/overview.html#running-versus-compiling

We try to provide experimental support for running the Scala compiler on LTS versions of Java ("Long Term Support"; see

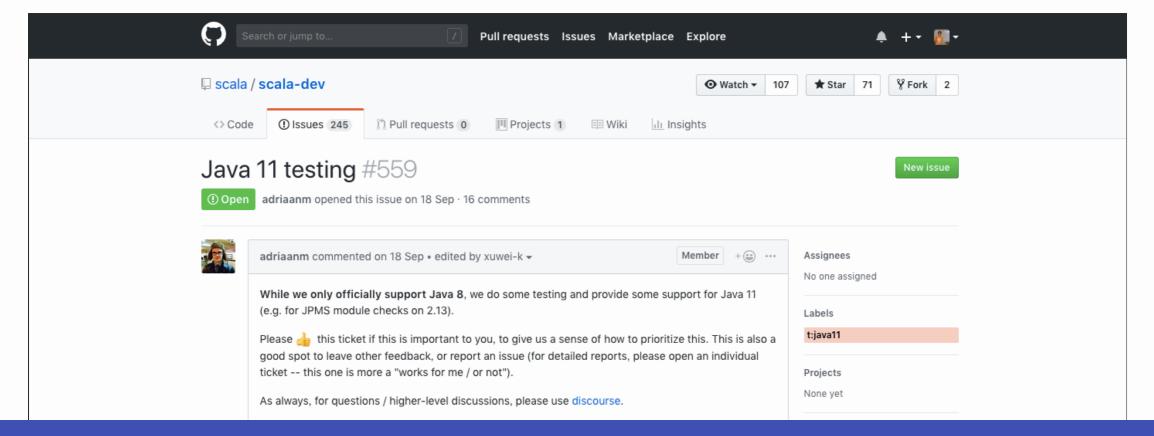
http://www.oracle.com/technetwork/java/eol-

135779.html), and to the extent possible will include the current LTS Java version in our CI matrix and the community build. We will not, a priori, consider non-LTS Java versions. Compiler bugs related to Java versions other than the supported one (Java 8), will be scheduled with lower priority, and will not be considered release blockers.

- ScalaコンパイラをLTSバージョンの Javaで実行するためのサポートを可能な 限り提供しようとしている
- LTS以外のJavaバージョンは考慮しない
- サポートされているバージョン(Java 8)以外のJavaバージョンに関連するコンパイラのバグは、優先順位が低くスケジュールされる

https://docs.scala-lang.org/overviews/jdk-compatibility/overview.html#running-versus-compiling

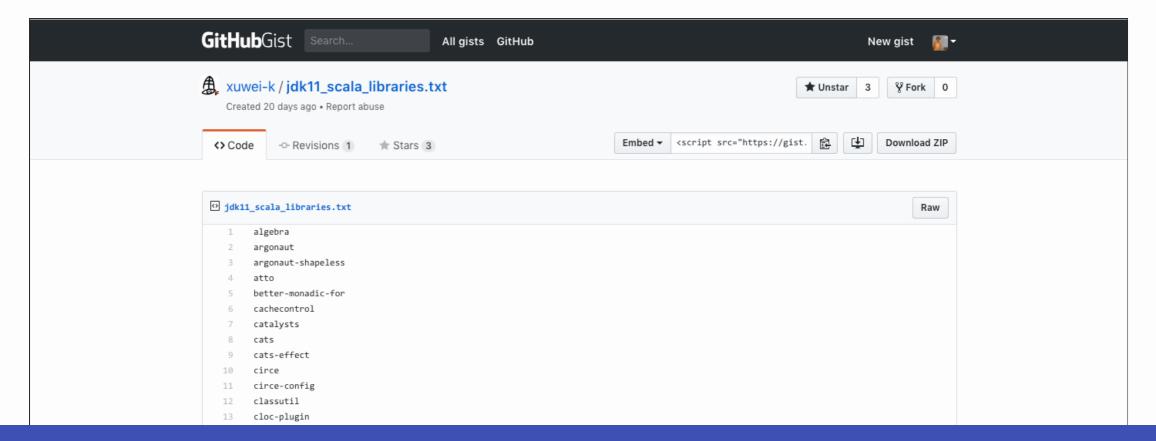
https://github.com/scala/scala-dev/issues/559



Scala製プロダクトのJava戦略 18 / 1

## ScalaライブラリのJava11対応状況

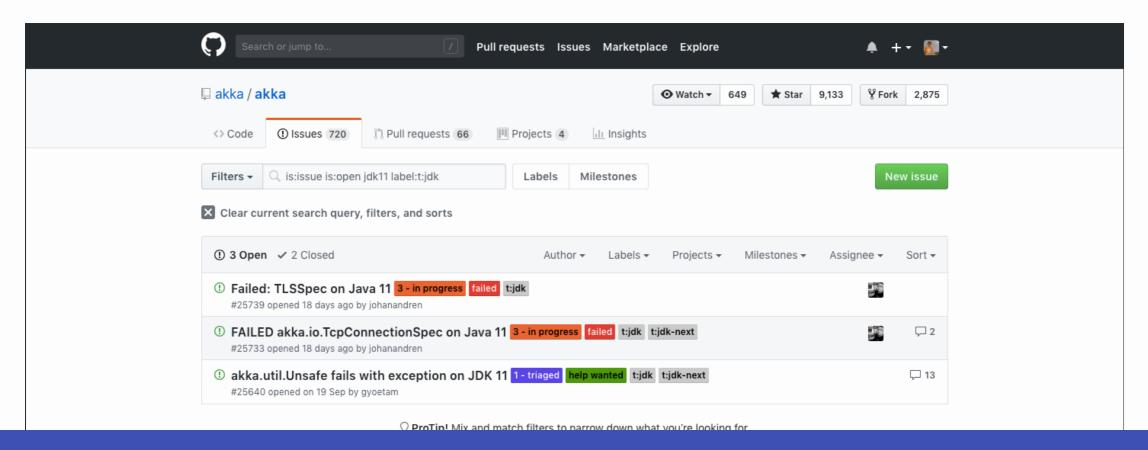
https://gist.github.com/xuwei-k/f0de6366f01363fbd25ada2c357508b5



Scala製プロダクトのJava戦略 19 / 24

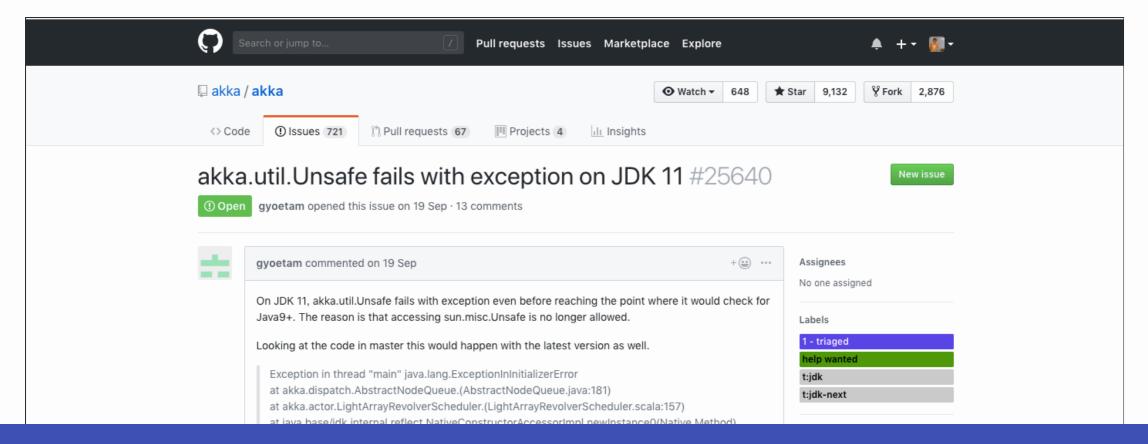
### AkkaのJava11対応状況

https://github.com/akka/akka/issues?q=is%3Aissue+is%3Aopen+jdk11+label%3At%3Ajdk



#### akka.util.Unsafeがコンパイルエラー

https://github.com/akka/akka/issues/25640



Scala製プロダクトのJava戦略 21 /

#### sun.misc.Unsafeが削除となった

https://www.oracle.com/technetwork/java/javase/11-relnote-issues-5012449.html#JDK-8193033

#### core-libs

#### → Removal of sun.misc.Unsafe.defineClass

The sun.misc.Unsafe.defineClass class has been removed. Users should use the public replacement, java.lang.invoke.MethodHandles.Lookup.defineClass, added in Java SE 9. For more details see the Java documentation:

https://docs.oracle.com/javase/9/docs/api/java/lang/invoke/MethodHandles.Lookup.html#defineClassbyte:A-

See JDK-8193033

- JVM 9, 10は、サポートが終了している
- JVM 11は、まだテスト中
- Akkaが動かないとかやばい
- ライブラリもテスト中

#### Version compatibility table

This table shows the first Scala release in each series that works with each JVM release.

JVM version	Minimum Scala versions
9, 10	2.12.4 <sup>1</sup> , 2.11.12 <sup>1</sup> , 2.10.7
8	2.12.0, 2.11.0, 2.10.2
7	2.11.0, 2.10.0
6	2.11.0, 2.10.0

# 選択肢

- 1. Oracle
- 2. Azul Systems
- 3. IBM
- 4. RedHad
- 5. 自前でがんばる